

## 『ビジュアルで学ぶ 伴侶動物 解剖生理学』 訂正とお詫び

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所		誤	正	備考
p. 41	表2-4 腰椎の椎骨数	犬 7 (6)	犬 7	
		猫 7	猫 7 (6)	
p. 91	図4-9	傍糸球体装置	糸球体傍装置	どちらも使用されるが、糸球体傍装置の方が一般的である
p153	表8-1 上から12, 13行目	卵胞刺激ホルモン (FSH)	黄体形成ホルモン (LH)	
		黄体形成ホルモン (LH)	卵胞刺激ホルモン (FSH)	
p160	図8-7	甲状腺 (傍濾胞細胞)	甲状腺 (濾胞傍細胞)	どちらも使用されるが、濾胞傍細胞の方が一般的である
p. 222	図13-1	<p style="text-align: center;">自然免疫</p> <p style="text-align: center;">マクロファージ      樹状細胞</p> <p style="text-align: center;">NK細胞      好中球</p> <p style="text-align: center;">抗原提示細胞</p>	<p style="text-align: center;">自然免疫</p> <p style="text-align: center;">マクロファージ      樹状細胞</p> <p style="text-align: center;">抗原提示細胞</p> <p style="text-align: center;">NK細胞      好中球</p>	